

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅲ Career Development Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	佐藤 翔 相馬 ひかり
		授業形態	講義			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2			
講師紹介	社会人経験豊富な職員が、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・他己紹介	相手をよく知り、クラスの仲間に紹介することでより良いクラス作りをする
2	就職対策①	ヘアメイク業界を知り、就職活動がスムーズに行えるようになる
3	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる
4	就職対策②	面接の基本やポイントを知る
5	模擬面接①	MF科と合同で模擬面接を行う
6	模擬面接②	MF科と合同で模擬面接を行う
7	中間試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる
8	グループディスカッション	スポフェスに向けて、出場種目、クラス衣装を決定
9	コンテスト対策	コンテストに向けて感性を磨き、オリジナリティのある先品が作れるようになる
10	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にすることができる
11	社会人基礎力を身につける①	社会人としての言葉使いを覚える。敬語・丁寧語、を正しく学ぶ。
12	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇に向けて準備しておきたい項目を理解する 夏休みの課題について
13	社会人基礎力を身につける②	相手に伝わる『伝え方』を身につける
14	社会人基礎力を身につける③	認知特性を使って自分の得意なことを知る。得意なことをどのように強みに変えていくかを考える。
15	定期試験	企業側の目線に立ち、『どのような人材が求めているか』を考えてまとめる

科目名 (英)	アシスタントプログラムⅢ Assistant program Ⅲ	年次	2	実務経験	担当	佐藤直雅
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	2		曜日・時間	1組3組(水1.2限)2組4組(水3.4限)
講師紹介	ヘアメイク事務所ピーサイド代表。数多くの現場経験を持ち、また多くのヘアメイクを輩出していた講師が、最新の現場で必要とされるアシスタント業務を具体的に説明する					
目的 科目概要	業界理解と作品撮りにより自己表現					
到達目標	業界を理解し、作品を通して、自己表現できるようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	JESCテキスト 他 資料			事前事後 学習と その内容		
教材	メイク道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	業界講話	TV業界について
2	業界講話	出版業界について
3	業界講話	音楽業界について
4	業界講話	ドラマ・映画業界について(座学)
5	撮影①	作品撮影について(座学)
6	撮影②	撮影実習プレゼン(座学)
7	まとめ	ヘアメイクの就職活動について(座学)
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	スチールヘアメイク I Comprehensive beauty technology I	年次	2	実務経験	担当	福島 裕司
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	1組(月1.2組)2組(月3.4限)3組(火1.2組)4組(火3.4限)
講師紹介	美容業界で23年以上CMや舞台、雑誌のヘアメイクなどの経験があり、現在もお客様のキレイの基準向上に取り組みんでいる。現場での経験を活かし、美容のスペシャリストを育成する為、美容知識、技術、経験の基礎と応用を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	撮影用のヘアメイクが出来るようになる為に現場の流れを理解し、基本技術を習得する。 一般的なヘアメイクと撮影用のヘアメイクの違いを学び、ナチュラルビューティ～ファッション系のヘアメイクを現場で対応できるようになる。 その為の撮影用ヘアメイクの技術力、表現力を身に付ける。					
到達目標	テーマに合わせたオリジナルヘアメイクデザインを考える事ができる。(ビューティ～ファッション～アート) 企画書から作成して撮影まで行うことが出来るようになる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 作品					
教科書	Make up foundation 1	事前事後 学習と その内容	講義、演習がメインとなる授業となる為遅刻欠席は出来るだけせず、復習をしっかりと授業に臨んで欲しい。 美容業界は流行の流れが速い為、常に雑誌やネットで情報を調べて予習しておく事。演習後は技術の復習をし、より確実に身に着ける事が望ましい。			
教材	学校指定のメイクアップ教材					
特記事項	講義及び掲示物について、著作権のある資料も使うことがある為写真撮影及び録音録画を禁止する					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	美容業界について ヘアテクニック確認	授業の流れ説明 美容業界説明 ヘアテクニックの確認
2	デザインヘアテクニック①	ファッション系ヘアスタイルを学び、実習することができる
3	デザインヘアテクニック②	アレンジ系ヘアスタイルを学び、実習することができる
4	デザインメイクアップ①	ファッション系メイクデザインを学び、実習することができる
5	デザインメイクアップ②	ファッション系メイクデザインを学び、実習することができる
6	撮影について 企画書の説明	撮影と企画書の作り方を学び、企画書を作成することができる グループ決め
7	中間テスト 作品撮影	グループで作品撮影を行う
8	デザインヘアテクニック③	ファッション系ヘアスタイルを学び、実習することができる
9	デザインヘアテクニック④	ファッション系ヘアスタイルを学び、実習することができる
10	デザインメイクアップ③	ファッション系メイクデザインを学び、実習することができる
11	デザインメイクアップ④	アート系メイクデザインを学び、実習することができる
12	撮影について 企画書作成	撮影について学び、オリジナル作品を作成することができる
13	撮影リハーサル	撮影ヘアメイクリハーサルを行い当日の流れを理解する
14	期末試験 撮影 前半	作品撮影を行う モデルは相モデル
15	期末試験 撮影 後半	作品撮影を行う モデルは相モデル

科目名 (英)	スチールヘアメイクⅡ Still shooting Hair Makeup II	年次	2	実務経験	担当	固本 正美
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	1組(金3・4限)2組(金1・2限)3組(火3・4限)4組(火1・2限)
講師紹介	TVやスチール撮影など幅広い現場でヘアメイクを担当している講師が現場で必要とされることも含めて分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい					
目的 科目概要	年代別の歴史やトレンドを学ぶ、またテーマ合わせたヘアメイクを自分で考えてヘアメイクに落とし込むことができるようになる。作品撮影をして自分の作品を残すことを目的とする					
到達目標	テーマに合わせて自分でヘアメイクのデザインを考え、作品に落とし込むことができるようになる。プロカメラマンによりオリジナルの作品を残すことを目的とする					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 作品					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	デザイン画のプリント配布					
特記事項	なし					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	1950年代トレンド	50年代(オードリー・ヘップバーン)をアレンジしたデザイン&実技
2	1960年代トレンド	60年代(ツイッギー)をアレンジしたデザイン&実技
3	1980年代トレンド	80年代をアレンジしたデザイン&実技
4	1990年代トレンド	90年代をアレンジしたデザイン&実技
5	2000～2020年代(現代)トレンド	2000～2020年代(現代)トレンドをアレンジしたデザイン考案
6	中間試験対策	中間試験に向けた準備・対策授業
7	中間試験①	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
8	中間試験②	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)
9	テーマ 春夏秋冬【春】	日本の季節【春】を表現するヘアメイクを考え表現する
10	テーマ 春夏秋冬【夏】	日本の季節【夏】を表現するヘアメイクを考え表現する
11	テーマ 春夏秋冬【秋】	日本の季節【秋】を表現するヘアメイクを考え表現する
12	テーマ 春夏秋冬【冬】	日本の季節【冬】を表現するヘアメイクを考え表現する
13	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業
14	定期試験①	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
15	定期試験②	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)

科目名 (英)	ヘアメイクⅡ Hair Make upⅡ	年次	2	実務経験	担当	井上 満智
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	1組(月1・2限)2組(月3・4限)3組(金1・2限)4組(金3・4組)
講師紹介	ヘアメイク事務所にて6年間勤務。TV、スチール、ブライダル等のヘアメイクからサロンワークまで、幅広く担当したのち独立。現在はフリーランスのヘアメイクアーティストとして活動中					
目的 科目概要	実践的なヘアアレンジテクニックの習得、ヘアとメイクをトータルで考えて表現できる技術の習得。 より現場に近い時間を意識したヘアメイクの実践。					
到達目標	場面に応じたヘアアレンジのバリエーションの習得 自分がイメージしたスタイルを表現できる技術の習得。 お客様がなりたいイメージを叶える表現力をつける					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	トレンドのスタイルや、様々なヘアメイクのイメージがぱっと思いつくように、日ごろから意識して雑誌やSNSを見るようにする	
教材	ヘア道具一式、メイク道具一式、鏡、エプロン					
特記事項	授業前に道具をセッティング					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	1年次のヘア技術チェック	1年次のヘア技術の確認(ピンニング、編み込み、アイロンテクニック)
2	編み込みヘアアレンジ	編み込みのパターン練習、編み込みを入れたヘアアレンジの習得
3	ニュアンスアップスタイル	カール感を出したボリュームのあるアップスタイルの作り方の習得
4	アイドルヘアアレンジ①	アレンジ入りハーフツインテール、ツインテールヘアをかわいらしく作る
5	アイドルヘアアレンジ②	アイドルに人気のヘアアレンジを習得する(ひつじヘア、くらげヘア)
6	中間試験対策	中間試験対策
7	中間試験	中間試験
8	メンズヘアセット	トレンドのメンズセットの習得(センターパート、パーマ風セット)
9	ヘアアクセサリーを使用したアレンジ	様々なヘアアクセサリーを使用したアレンジの習得、撮影やイベント時のアクセサリーの止め方の習得
10	相モデル実習①	相モデルでのヘアアレンジの実践(巻き下ろし、ハーフアップ)
11	相モデル実習②	相モデルでのヘアアレンジの実践(アップスタイル)
12	韓国風アイドルヘアメイク①	アイドルのメイク・ヘアを学び、相モデルで実践する、写真撮影
13	韓国風アイドルヘアメイク②	アイドルのメイク・ヘアを学び、相モデルで実践する、写真撮影(相モデル交代)
14	定期試験準備	デザインシートの作成、相モデルでの練習
15	定期試験	相モデルでの実践、デザインシートの提出

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク	年次	2	実務経験	担当	高岸 裕一
	Bridal hair makeup	授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	1組(火3.4限)2組(火1.2限)3組(火1.2限)4組(火3.4限)
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている。					
目的 科目概要	ブライダルヘアメイクの基礎技術、スタイリング方法、トレンドなどを学びます。 ブライダルスタイルを考慮して、ドレスや小物の選定方法、ヘアメイクのデザインセンスを学びます。					
到達目標	ブライダルヘアメイクの授業を通じて、ブライダル業界で活躍するために必要な技術や知識を身につけ、高品質な作品を創り上げることが求められます。また、プレ花嫁へのアドバイスや相談対応など、お客様へのサービスマインドや接客スキルを身につけることも重要です。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	配布資料			事前事後 学習と その内容	ブライダルのヘアスタイル・雑誌などをチェックする。	
教材	ヘア道具一式、					
特記事項	エプロンと名札着用で臨む。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ブライダルスタイル(土台)	ホットカラー・カールアイロンのブライダルスタイルの土台作り・ダウンスタイルを作成する。
2	ブライダルスタイル(ハーフアップ)①	ハーフアップ(ツイスト)アレンジの作成する。
3	ブライダルスタイル(ハーフアップ)②	ハーフアップ(編み込み)アレンジの作成する。
4	ブライダルスタイル(ハーフアップ→アップスタイル)	ハーフアップ(くるりんぱ)アレンジ→アップスタイルへチェンジする。
5	和装ブライダル(新日本髪)	和装の新日本髪スタイルを作成する。
6	試験対策	ハーフアップスタイルからアップスタイルを練習する。
7	中間試験・期末試験	スタイルチェンジ(ハーフアップ→アップスタイル)
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	ブライダルヘアメイク Bridal Hair Makeup	年次	2	実務経験	担当	川戸 有子
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	1組(火3.4限)2組(火1.2限)3組(火1.2限)4組(火3.4限)
講師紹介	まつ毛エクステ、エステ技術者としての豊富な経験を活かし、母校で講師として携わることにやりがいを感じます。					
目的 科目概要	近年、まつ毛エクステーションは多くの女性に人気を集めるようになりました。まつ毛エクステーションは、地まつ毛に装着するので危険が伴います。そのため、アイリストとして確かな知識や技術が必要です。私も日々細心の注意を心がけております。安心・安全を第一とする技術者としての自覚や心構えを学んでもらいたいです。					
到達目標	まつ毛エクステーション施術について、安全・衛生面の重要性とともに基本知識・技術を習得する。カウンセリング・デザインからエクステーション装着をマネキンを利用して施術を行う。安全に丁寧に美しく仕上げることができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 ■ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容	忘れ物ないよう毎回確認しましょう	
教材	プリント(補助教材)、ツイザー2本、付けまつ毛					
特記事項	授業で毎回必ず必要な物 筆記用具・タオル2枚・ツイザー2本・付けまつ毛・小さいビニール袋・ポケットティッシュ					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	まつ毛エクステーションとは	左右のツイザーに慣れ、まつ毛をかき分ける。まつ毛をツイザーの間に1本入れる
2	カウンセリングについて	まつ毛クレンジング～エアブローのかけ方。エクステーションを練習用のペーパーに装着する
3	まつ毛の構造と毛周期について	マネキンにエクステーションを装着する
4	まつ毛エクステーションのデザインについて	まつ毛エクステーションのデザイン(キュートライン)
5	まつ毛エクステーションの施術の流れ	まつ毛エクステーションのデザイン(セクシーライン)
6	まつ毛エクステーションのトレーニング	まつ毛エクステーションのデザイン(カラーエクステ)
7	定期試験(筆記・実技)	まつ毛エクステーション施術の安心・重要性を理解し、エクステーションを丁寧に美しく仕上げる
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名 (英)	卒業制作 Graduation work	年次	2	実務経験	担当	高岸 裕一
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	1組(水3.4限)2組(水1.2限)3組(木1.2限)4組(木3.4限)
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている。C					
目的 科目概要	プランニング、ヘアメイク技術、メイク技術、卒業制作に必要な衣装や小道具の選定方法、デザインセンスを学びます。					
到達目標	卒業制作の授業を通じて、ヘアメイクアーティストとして必要な技術や知識を身につけ、自分自身の個性や創造力を発揮し、高いクオリティの作品を創り上げる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	配布資料			事前事後 学習と その内容	クリエイティブに繋がる絵画や映画・ヘアメイクスタイルなどを視聴・検索する。	
教材	メイク道具一式・ヘア道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	プランニング①	卒業制作のテーマやアイデアの考え方、デザインなどを下書きする。
2	プランニング②	デザインイメージを完成させてポイントを実践する。
3	骨格を強調した作品①	骨格を強調した作品をデッサンする。
4	骨格を強調した作品②	骨格を供した作品を完成させる。
5	アイメイクを強調した作品①	アイメイクを強調した作品をデッサンする。
6	アイメイクを強調した作品②	アイメイクを供した作品を完成させる。
7	中間試験	卒業制作をテーマに作品作成(アイメイク・骨格強調)
8	チークを強調させた作品①	チークを強調した作品をデッサンする。
9	チークを強調させた作品②	チークを供した作品を完成させる。
10	リップを強調させた作品①	リップを強調した作品をデッサンする。
11	リップを強調させた作品①	リップを供した作品を完成させる。
12	ヘアスタイルを強調させた作品①	ヘアスタイルを強調した作品をデッサンする。
13	ヘアスタイルを強調させた作品②	ヘアスタイルを供した作品を完成させる。
14	定期試験対策	プランニングシートを作成・資料を集め・作品の仕上がりを確認する。
15	定期試験	卒業制作をテーマに作品作成

科目名 (英)	特殊メイク I Special Effect I	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	メイクアップアーティストとしてステール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュースなど化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではヘアメイクに必要な特殊メイクに関する専門的な技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:ヘアメイクとして幅広いメイクアップの表現力を身につける。 科目概要:TV・映画で必要な特殊なメイクを学ぶ、クリエイティブなメイク表現を学ぶ。					
到達目標	TV・映画で必要な特殊なメイクを習得できる。、クリエイティブなメイク表現を理解することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	適宜参考画像・動画など資料用意します。			事前事後 学習と その内容	前もって参考になる画像などをリサーチしておくこと。手順が特殊なので何度か実践しいつでも再現できるようにしておくこと。	
教材	メイク教材と学校準備の共有教材					
特記事項	手順が特殊なのでしっかりとメモを取る。					

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	あざメイク／傷メイク①／火傷メイク①	アザ初日 アザ初目 アザ4日目／すり傷／ワックスを使った傷メイク／ペイントによる火傷メイク(I度熱傷)／ワセリンとオブラートによる火傷メイク(Ⅲ度熱傷)
2	傷ワックスの応用メイク①	ワックスを使った、つけ鼻／指切れ／裂傷メイク
3	死人メイク／傷ワックスの応用メイク②	ペイントによる死人メイク／ワックスを使った銃創メイク／縫合メイク
4	特殊メイクで再現①	殴られてケガした人の顔メイク
5	老けメイク①(ペイントのみ)	くすみ シミ 小ジワ 大ジワ たるみ コケ 白髪 老化を表現する
6	ゾンビメイク	老け 痣 火傷 傷 死人メイクの応用でゾンビを表現する
7	中間試験	ゾンビメイク(フルメイク50分)
8	傷メイク②／火傷メイク②	シリコンパテによる傷メイク／ゼラチンを使った水疱メイク(Ⅱ度熱傷)
9	火傷メイク③	ラテコットンによる火傷メイク(Ⅲ度熱傷)
10	伝染性皮膚疾患メイク	3Dトランスファーピーシメイクによる伝染性皮膚疾患メイク
11	特殊メイクで再現②	汗+煤汚れ+火傷の組み合わせた爆撃を逃れた人の顔)
12	男装メイク	つけ髭も含めた男性に見せるメイク
13	老けメイク②	ラテックスを使用した老けメイク
14	ゾンビメイク②	ラテックス・シリコンパテ・汚しを組み合わせたゾンビメイク
15	定期試験	ゾンビメイク(フルメイク50分)

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅳ Career Development Ⅳ	年次	2	実務経験	担当	佐藤 翔 相馬 ひかり
		授業形態	講義			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2			
講師紹介	社会人経験豊富な職員が、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	目的:グループワークや個人ワークでの自己分析、チームで働くことの大切さを学び社会人基礎力に必要な3つの能力【前に踏み出す力】【考え抜く力】【チームで働く力】を身に付ける。					
到達目標	①自己発見を行い、希望就職先へ内定できるようになる。 ②笑顔であいさつができるようになり、接客に必要な身構え・気構え・心構えを身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	スケジュール帳・筆記用具・iPad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身につけましょう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	社会人基礎力を身につける	社会人に必要なマナーを身につける。 冠婚葬祭
2	社会人基礎力を身につける	社会人に必要なマナーを身につける。 テーブルマナー
3	社会人基礎力を身につける	社会人に必要な知識を身につける。 税金、保険、年金
4	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にする。
5	グループディスカッション	グループディスカッションで社会人基礎力【考える力】を身につける。
6	グループディスカッション	グループディスカッションで自分の立ち位置や、どうすれば印象に残せるか学ぶ。
7	中間試験	前期を振り返り後期に向けての目標を明確にする。 社会人マナーの筆記テスト
8	社会人基礎力を身につける	伝える力、読み取る力を学ぶ。
9	グループディスカッション	お互いの意見を尊重し、グループで意見をまとめる。
10	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。 上座・下座
11	社会人基礎力を身につける	社会人としてのマナーを身につける。 電話対応
12	TOPサロンゼミ	業界のプロから技術やマインドを学び将来像を明確にする。
13	自分の強みについて考える	認知特性を使って自分の得意なことを知る。得意なことをどのように強みに変えていくかを考える。
14	ストレスについて考える	ストレスを軽減するためにはどのような行動が必要かを考え、個人で考え、チームで共有する。
15	定期試験	社会人基礎力【考える力】を身につける。 【テーマ】後悔のない人生を送る為にはどうすればいいか 800文字にまとめる。

科目名 (英)	パーソナルカラー I Personal color I	年次	2	実務経験	担当	高橋 名都紀
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	2			曜日・時間
講師紹介	色彩心理に興味を持ったことをきっかけに、色彩に関する資格を多数取得(色彩検定1級、パーソナルカラー検定1級等)。色彩に関わるお仕事がしたい!と思い、個人サロンを立ち上げ、パーソナルカラー診断・骨格診断・顔タイプ診断をしています。色彩に関する知識だけでなく、みなさんの色感やスキルアップ、ファッション&メイクセンスアップにつながるような実践的なお話やアドバイスをいたします!					
目的 科目概要	目的:似合う色を活用するポイントを学ぶことで、TPOに合わせた自分の魅せ方(自分ブランディングの仕方)を学ぶ。 概要:パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎、そのもとになる色彩学の基礎を習得する。 自分自身の似合う色を実習の中で学んでいく。					
到達目標	自分には客観的にどのような色が似合うかを学び、「自分ブランディング」ができるようになる事で自分に自信を持ち、自己表現の幅を広げること。 パーソナルカラー検定3級(2024年度冬季)の合格を目指す。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点~90点A(4.0)、89点~80点B(3.0)、79点~70点C(2.0)、69点~60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	色彩活用パーソナルカラー3級公式テキスト		事前事後 学習と その内容	授業の進行に合わせて、必要である場合はホームワークとして課題、復習、問題集、プリントの課題を実施いたします。		
教材	公式問題集、新配色カード199a、PCGSTーン別色相環					
特記事項	【カラーワーク】がある日は、必ず「はさみ、のり」を持参してください。					

### 授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション パーソナルカラーと自分ブランディングについて	授業のオリエンテーション パーソナルカラー(似合う色)を知ることのメリットと概要を理解する。【カラーワーク】
2	色の三属性(色相、明度、彩度)	色彩の基本である色の三属性(色相、明度、彩度)を学ぶ。
3	トーン(色の調子)	トーンの見え方と仕組みを理解する。 身の周りの色や指定された色をトーンでとらえられるように、慣れる。
4	パーソナルカラーの色分け 4シーズンのカラーパレット	パーソナルカラーの色分け【カラーワーク】 4シーズンの色の特徴を見分け、色分類ができるように、色感を磨く。
5	色素の見分け方 色素チェック	生まれながらに持った色素(肌、髪、眼の色と質感)の特徴の見分け方のポイントと、色素と似合う色の関係性を学ぶ。自分はどんな色素を持っているのかを確認する。
6	中間試験 ドレーピングの仕方	20問/20点満点 選択問題 ドレーピングによる似合う色の見つけ方をおさえ、実習に備える。
7	ドレーピング実習①	ドレーピングによるパーソナルカラー診断の実習 グループに分かれ、ドレープを比較しながら、お互いの似合う色を確認する。
8	ドレーピング実習②	ドレーピングによるパーソナルカラー診断の実習 グループに分かれ、ドレープを比較しながら、お互いの似合う色を確認する。
9	似合う色の取り入れ方	4シーズンの似合う色の取り入れ方(ファッション、メイク、アクセサリ、柄、素材) 似合わない色の見え方も確認する。
10	対比 色名	色による顔色見え方の変化を理解する。 系統色名と慣用色名の色の名前を使い分けのポイントを学ぶ。
11	反射・吸収 色と光	色はなぜ見えるのか?色と光の関係性を学ぶ。 検定に備えて過去問題を解き、問題に慣れる。
12	期末テスト(模擬試験)	89問/50点満点 選択問題 検定に備えて過去問題を解き、問題になれる。
13	期末テスト解説	間違えやすい問題、検定に出やすいポイント、覚えるところを確認する。
14	パーソナルカラー検定	60分 89問 マークシート 合格ライン80%
15	まとめ フィードバック	自分自身のパーソナルカラーについて。 「自分ブランディング」について考えよう!

科目名 (英)	フェイシャルエステ Facial Esthetics	年次	2	実務経験	担当	山田 優子
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4			
講師紹介	エステティシャンとして20年間以上に渡りフェイシャルケア、ボディケア等、様々な美容サービスを提供してきました。授業では心身を癒し肌やボディラインを整える為のノウハウを丁寧にお伝えしてゆきます。生活に役立つセルフケアの方法や、美容の基礎知識を提供します。					
目的 科目概要	スキンケアの重要性と皮膚のしくみ、身体のしくみについて学ぶ。 エステティックにおけるフェイシャルクレンジング、フェイシャルマッサージ、リフレクソロジー等、エステティック市場で人気の高い技術を習得する。					
到達目標	皮膚や心身のしくみについて理解し、フェイシャルケア、ボディケアが出来るようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	AJESTHE : 認定フェイシャルエステティシャン理論と技術			事前事後 学習と その内容	毎回の授業テーマと概要を理解して授業に参加する事。	
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業の授業内容を復習し、配布プリントは保管する事。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	エステティックとは/セッティング & 肩のマッサージ	エステティックの基礎知識を学ぶ。 セッティング、消毒、清掃法。肩マッサージの実践。
2	ホメオスタシスとストレス/ハンドマッサージ	ホメオスタシスとストレスについて学ぶ。 ハンドマッサージの実践。
3	エステカウンセリング/フットマッサージ	エステティックカウンセリングについて学ぶ。 フットマッサージの実践。
4	ヘッドマッサージとは/ヘッドマッサージ	ヘッドマッサージについて学ぶ。 ヘッドマッサージの実践。
5	リフレクソロジーとは/リフレクソロジー	リフレクソロジーについて学ぶ。 フットリフレクソロジーの実践。
6	皮膚の仕組みと働き/ハンドスクラブ	皮膚のしくみと働きの基礎知識を学ぶ。 ハンドスクラブの実践。
7	中間試験【筆記】/技術チェック	6回までの講義の理解度を確認する。 ハンドマッサージの技術力を確認する。
8	ホットストーンとは/ホットストーンセラピー	ホットストーンについて学ぶ。 ホットストーンセラピーの実践。
9	フェイシャルケアの基礎/クレンジング	フェイシャルケアの基礎やトリートメントの流れについて学ぶ クレンジングとホットタオル拭き取りの実践。
10	フェイシャルマッサージとは/リンパフェイシャルケア①	フェイシャルマッサージに役立つ知識を学ぶ。 リンパフェイシャルケアの実践。
11	フェイシャルマッサージとは/リンパフェイシャルケア②	フェイシャルマッサージに役立つ知識を学ぶ。 リンパフェイシャルケアの実践。
12	フェイシャルマッサージとは/リンパフェイシャルケア③	フェイシャルマッサージに役立つ知識を学ぶ。 リンパフェイシャルケアの実践。
13	リンパフェイシャルケアの復習/ウッドランプ	リンパフェイシャルケアの復習。ウッドランプの実践
14	リンパフェイシャルケアの復習/ローションパック	リンパフェイシャルケアの復習。ローションパックの実践
15	定期試験【実技】	14回までの講義の理解度を確認する。【リンパフェイシャルケア】

科目名 (英)	美容総合技術 Beauty Practice	年次	2	実務経験	担当	千葉 貴大 小川 冬生
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・専攻	ヘアメイク科	単位	4		曜日・時間	1組(月3.4限)2組(木3.4限)3組(火1.2限)4組(火3.4限)
講師紹介	表参道をはじめとした東京、千葉、札幌に10店舗展開しているサロンのマネージャー。人事としても活動し、リクルートセミナーや外部講師としても活躍している。					
目的 科目概要	目的:シャンプーブロー、スタイリング技術の習得。 概要:基礎技術向上に加え、美容職としての心構えやプロ意識、ホスピタリティを学ぶ					
到達目標	ゲストに求められる技術を提供でき、コミュニケーションがとれる。 生徒自身がそれぞれイメージを固め、具現化できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	ケープ、タオル、ブラシ、ドライヤー、スタイリング剤					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・技術展示	授業の趣旨を把握する。シャンプーの目的手順を理解する。
2	シャンプー実習	相モデルでのシャンプー練習を行う。
3	シャンプー実習	相モデルでのシャンプー練習を行う。
4	シャンプー実習	タイム(15分)を重視したシャンプー練習を行う。
5	シャンプー実習	タイム(12分)を重視したシャンプー練習を行う。
6	シャンプー実習	タイム(12分)とクオリティを意識したシャンプー練習を行う。
7	中間テスト	相モデルでのシャンプーの実技試験を行う(タイム12分)
8	シャンプー、ブロー実習	シャンプー、ブローの手順を再確認し、ウィッグを使ったブロー練習を行う。
9	シャンプー、ブロー実習	相モデルでのシャンプー、ブロー練習を行う。
10	シャンプー、ブロー実習	タイム(40分)を重視した、相モデルでのシャンプー、ブロー練習を行う。
11	メンズスタイリング実習	ウィッグを使い、メンズの基本スタイリングを行う。
12	ブロー、スタイリング実習	相モデルでブローとスタイリングを行う。
13	シャンプー、ブロー実習	タイム(45分)を重視したシャンプー、ブロー練習を行う。
14	シャンプー、ブロー実習	タイム(40分)とクオリティを意識したシャンプー、ブロー練習を行う。
15	期末テスト	相モデルでのシャンプー、ブローの実技試験を行う(タイム40分)

科目名 (英)	デザインヘアメイク design hair and makeup	年次	2	実務経験	担当	高岸 裕一
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	1組(火1.2限)2組(火3.4限)3組(水1.2限)4組(水3.4限)
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている。					
目的 科目概要	デザインヘアメイクの授業では、クリエイティブな発想力や技術力を身につけ、自身のオリジナルなアートワークを創り出すことが目的となります。					
到達目標	クリエイティブな発想力の向上が求められます。また、ファッションやトレンドに敏感な視点を持ち、広告、舞台やコスプレなど、多様な技術やスタイルに触れ、自分の個性を発揮することが重要です。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	世界コスプレ技術検定協会公式テキスト			事前事後 学習と その内容	クリエイティブな絵画や映画を視聴する。	
教材	ヘア・メイク道具一式 衣装 小物 ウィッグなど					
特記事項						

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	エレメントデザイン①	火・水・雷・風・地など自然テーマとしてデザインを作成
2	エレメントデザイン②	デザインと構成をブラッシュアップし完成させる。
3	エレメントデザイン③	前回と別の火・水・雷・風・地など自然テーマとしてデザインを作成
4	エレメントデザイン④	デザインと構成をブラッシュアップし完成させる。
5	ハロウィーンデザイン①	ハロウィーンをテーマにデザインを作成する。
6	ハロウィーンデザイン②	ハロウィーン作品を完成させる。
7	中間試験	クリエイティブな作品提出
8	広告①	クリエイティブなヘアメイクアップアーティストは、ファッションショー、雑誌の表紙、映画、CMなどのプロジェクトで重要な役割を果たしています。CM広告を作成
9	広告②	コレクションをイメージした広告を作成。
10	コスプレ①	アニメや漫画、ゲームなどのキャラクターを再現するために、メイクアップ・ウィッグをデザインします。
11	コスプレ②	アニメや漫画、ゲームなどのキャラクターを再現するために、メイクアップ・ウィッグを実習する。
12	アニマルデザイン①	アニマルをテーマにデザインを作成
13	アニマルデザイン②	デザインと構成をブラッシュアップし完成させる。
14	12星座デザイン①	12星座をテーマにデザインを作成
15	期末試験対策	12星座をテーマに作品制作



科目名 (英)	スチールヘアメイクⅢ Still Hair MakeⅢ	年次	2	実務経験	担当	固本 正美
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	1組(金3.4限)2組(金1.2限)3組(火3.4限)4組(火1.2限)
講師紹介	TVやスチール撮影など幅広い現場でヘアメイクを担当している講師が現場で必要とされることも含めて分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい					
目的 科目概要	テーマに合わせたコンセプト、ヘアメイクを自分で考えてコンセプトシートにまとめ、オリジナルティーをより追及し、プロカメラマンによる作品撮影をし作品を残す					
到達目標	テーマに合わせて自分でヘアメイクのデザインを考えて、作品に落とし込むことができるようになる。プロカメラマンにより作品残すことを目的とする					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	デザイン画のプリント配布、ヘア・メイク道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	テーマに合わせたヘアアレンジ①	テーマに合わせたヘアアレンジをメインとした作品を制作する(メイクはポイントのみ)
2	テーマに合わせたヘアアレンジ②	テーマに合わせたヘアアレンジをメインとした作品を制作する(メイクはポイントのみ)
3	SDG's(エスディージーズ)を考える①	SDG'sの開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートにまとめて完成させる(1～9までのカテゴリーで決める)
4	SDG's(エスディージーズ)を考える②	SDG'sの開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートにまとめて完成させる(10～17までのカテゴリーで決める)
5	SDG's(エスディージーズ)を考える③	SDG'sの開発目標の17のテーマから自分でピックアップしコンセプトシートにまとめて完成させる(1～17までのカテゴリーで決める)
6	中間試験対策	中間試験に向けた準備・対策授業
7	中間試験(1回目)	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
8	中間試験(2回目)	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)
9	2024年トレンド ヘアメイク(グループ制作)①	グループ制作 コンセプトシートの作成、担当分け、準備、撮影場所決め、モデルでテストする
10	2024年トレンド ヘアメイク(グループ制作)②	作品を完成させる。自分達で撮影する
11	JAPANENE 個人制作①	日本文化の特徴と表現方法を個人で制作する
12	JAPANENE 個人制作②	日本文化の特徴と表現方法を個人で制作する
13	定期試験対策	定期試験に向けた準備・対策授業 ヘアメイクのテスト・準備
14	定期試験(1回目)	フォトグラファーによる作品撮り①(相モデル)
15	定期試験(2回目)	フォトグラファーによる作品撮り②(相モデル)

科目名 (英)	ヘアメイクⅢ Hair MakeupⅢ	年次	2	実務経験	担当	吉原 道則 山崎 七世
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・専攻	ヘアメイク科2年	単位	4			曜日・時間
講師紹介	ヘアメイクのマネージメントを行うTC所属のヘアメイク。ブライダル、メディア、ファッションなどのヘアメイクなどで活動。長年のプロの現場で培った幅広い知識、技術が評価されて様々なクライアントの評価も高い。					
目的 科目概要	実践的なヘアアレンジテクニックの習得、トレンドを意識したヘアとメイクをトータルで考えて表現できる技術の習得。 より現場に近い時間を意識したヘアメイクの実践し、ヘアスタイルを中心とし、ヘアスタイルに合わせたメイクも考え相モデルで施術する					
到達目標	場面に応じたヘアアレンジのバリエーションの習得 自分がイメージしたスタイルを表現できる技術の習得。 お客様がなりたいイメージを叶える表現力をつける					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	トレンドのスタイルや、様々なテーマのヘアメイクのイメージが思い つくように、日ごろから意識して情報やSNSを見るようにしてください		
教材	ヘア道具一式、メイク道具一式、鏡、					
特記事項	授業前に道具をセッティング					

### 授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	式典ヘアアレンジ①	成人式、卒業式などでトレンドのハーフアップスタイルを相モデルで実践する。
2	式典ヘアアレンジ②	成人式、卒業式などでトレンドの編みおろしスタイルを相モデルで実践する。
3	式典ヘアアレンジ③	成人式、卒業式などでオリジナルのヘアメイクを相モデルで実践する。
4	アイドルヘアアレンジ①	ハーフツインテール、ツインテールヘアをかわいらしく作る。
5	アイドルヘアアレンジ②	人気のヘアアレンジを習得する(ひつじヘア、猫耳ヘア)
6	中間試験対策	相モデルでの練習。
7	中間試験	相モデルでの実践。
8	宣材写真用ヘアメイク①	宣材写真用のヘア・メイクを学び、相モデルで実践する。ナチュラルなヘアメイク
9	宣材写真用ヘアメイク②	宣材写真用のヘア・メイクを学び、相モデルで実践する。イメージヘアメイク
10	ブライダルヘアスタイル①	トレンドのブライダルヘアを学び、相モデルで実践する、メイクをして写真撮影。
11	ブライダルヘアスタイル②	トレンドのブライダルヘアを学び、相モデルで実践する、写真撮影(相モデル交代)
12	トレンドヘアメイク①	トレンドのメイク・ヘアを学び、相モデルで実践する、メイクをして写真撮影。
13	トレンドヘアメイク②	トレンドのメイク・ヘアを学び、相モデルで実践する、写真撮影(相モデル交代)
14	定期試験準備	デザインシートの作成、相モデルでの練習。
15	定期試験	相モデルでの実践、デザインシートの提出。

科目名 (英)	特殊メイクⅡ Special Effect Make up II	年次	2	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
学科・専攻	ヘアメイク科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	1組(水3.4限)2組(水1.2限)3組(金3.4)4組(金1.2限)
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュースなど化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではヘアメイクに必要な専門的な特殊メイクに関する専門的な技術の基礎を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:ヘアメイクとして幅広いメイクアップの表現力を身につける。 科目概要:TV・映画で必要な特殊なメイクを学ぶ、クリエイティブなメイク表現を学ぶ。					
到達目標	TV・映画で必要な特殊なメイクを習得できる。、クリエイティブなメイク表現を理解することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。( )は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	なし			事前事後 学習と その内容	手順が特殊なので前もって参考になる画像などをリサーチしておくこと。手順が特殊なのでしっかりとメモを取り、何度か実践しいつでも再現できるようにしておくこと。	
教材	メイク教材と学校準備の共有教材					
特記事項	7回目と14回目の授業時に課題を提出していただきます。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	フェイクメイク①	【バズルメイク】顔にバランス良くジグソーパズルのピースを描くことができる。
2	フェイクメイク②	【ハーフ&ハーフメイク】顔に男女の横顔を描き分けることができる。
3	フェイクメイク③	【アメコミメイク】アメコミ風の顔に見えるメイクをすることができる。
4	フェイクメイク④	【フェイスオフメイク】顔がはずれて見えるメイクをすることができる。
5	フェイクメイク⑤	【スライスカットメイク】顔が切れてずれて見えるメイクをすることができる。
6	フェイクメイク⑥	【多色メイク】ビビッドな多色を使ったデザインメイクをすることができる。
7	中間試験	【多色メイク】ビビッドな多色を使ったデザインメイクを時間内に仕上げる。(20点)
8	舞台メイク①	【キャッツメイク】デザイン・ライン・グラデーション・左右対称にこだわって作ることができる。
9	舞台メイク②	【宝塚男役メイク】舞台独特の大きな表現を学ぶ。
10	舞台メイク③	【宝塚娘役メイク】舞台独特の大きな表現を学ぶ。
11	舞台メイク④	【宝塚ハーフ&ハーフメイク】半顔男役/半顔娘役をしっかりと作り分けることができる。
12	フェイクメイク⑦	【アニメメイク】眉・目・唇をアニメのキャラのように限りなく大きく仕上げるすることができる。
13	フェイクメイク⑧	【スカルメイク】骨格に合わせて巧みに頭蓋骨を表現を学ぶ。
14	フェイクメイク⑨	【スカルメイク】骨格に合わせて巧みに頭蓋骨を表現することができる。
15	定期試験	【スカルメイク】を限られた時間内で仕上げる(50点)